

第1回岩手県立平泉世界遺産ガイダンスセンター指定管理者選定委員会

(議事録)

- 1 日時 令和6年8月1日 11:30~13:00
- 2 場所 岩手県立平泉世界遺産ガイダンスセンター 体験学習室
- 3 出席者
委員 平原英俊委員、松本数馬委員、雨宮康委員、新沼司委員
(欠席：相馬美貴子委員)
事務局 和田総括課長、半澤世界遺産担当課長、齋藤主任主査、久保主査、
八重樫主任行政専門員
- 4 傍聴者 1名
- 5 会議の内容
 - (1) 開会
 - (2) 挨拶
【事務局】 和田総括課長より挨拶
【事務局】 事務局から委員及び事務局職員の紹介
 - (3) 会議の公開について
【事務局】
会議の開催に先立ちまして、この選定委員会の会議の公開の取扱いにつきましては、「審議会等の会議の公開に関する指針」の規定により第1回目は公開とし、第2回目の審査の際は非公開とする取扱いをすることとしてよろしいでしょうか。委員の皆様にご検討をお願いします。
【委員】
異議なし。
【事務局】
それでは、今回の選定委員会につきましては、会議を公開することとし、次回の審査の際の選定委員会は、非公開とする取扱いとすることに決定いたします。
 - (4) 委員長及び副委員長の選出
委員の互選により、委員長に平原委員長、副委員長に相馬委員を選出。
本日欠席の相馬様については事務局にて確認の上、進める。

5 議事

(1) 基本方針について

事務局) 資料1～3説明

委員) 学校の受入れ状況、内訳について教えていただきたい。

事務局) R5実績では個人が12,797人で79.3%、団体が3,350人で20%余、20人未満のグループも含めた団体利用は138件で、一般1,972人、学生149人、高校生以下1,894人の計4,015人となっている。

委員) 団体の中に教育旅行が含まれるのか。

事務局) そのとおり。団体の半分が一般、半分が小中学生となっている。

委員) 施設利用者数の推移は有料入館者を含むのか。

事務局) そのとおり。

委員) 岩手大学のサテライト機能が出てくる理由は何か？
運営に何か関わってくるのか。

事務局) そういう施設の利用があるということ。

委員) その分の利用料等は、補填されるのか。

事務局) すでに指定管理料の積算に含まれているもの。

(2) 募集要項(案)について

事務局) 資料4～5説明

委員) 指定管理者に支払う指定管理料 p.15 の価格点の計算方法を教えていただきたい。価格点を重視するのか、運営の中身を重視するのか、配点の配分はどのようなになるか。

事務局) 審査の際にはお示しできるようにする。

(指定管理者の選定方法については、募集要項の8「指定管理者の選定方法」のとおり。(配点基準及び審査内容を規定)

県指定管理料の上限額に対する申請額については、収支計画の内容と併せて評価願いたい。)

委員) 修繕について。当施設は映像が多い。最終的に修繕が必要になった場合は、指定管理者の負担にならず、全部県が支払うという理解でよいか。

事務局) そのとおり

委員) 利用者アンケート p29 は毎日か、期間を決めるのか。

事務局) 現在は常時受付にアンケート用紙を置いて行っている。

委員) P29 に「1 か月以上」とあるのは、基本は常時アンケートを行うということか。

事務局) 現状、そのようになっている。

委員) 指定管理料について。入館者見込が5万人から3万人となっているが、達成見込みはいかがか。

事務局) 4月の実績では対前年度比で伸びている。4～5割の伸びを期待、県でも様々な利用促進策を考えており、30千人を見込む。

委員) 旅行会社への営業活動はどちらの役割か。

事務局) 県の役割。北海道で開催される教育旅行説明会には県が行く。県内の学校にもこれまで以上に働きかけたい。

委員) p. 15 設置目的の理解について。世界遺産としての価値、周遊させるという目的。

周遊の観点は設置目的に含まれているのか。

事務局) ガイダンス施設なので周遊の出発点として、ゲートウェイの機能の中で含まれている。

委員) 施設の入館、行為の許可という観点で積極的に学校、民間の活用を周知していく必要があると考える。例えばこういったことならできるといったポジティブなメッセージをお知らせしていった方が、より利用してもらえるのではないか。ポジティブな発信が利用にもつながると感じる。

収支のことについて。前回より引きあがっているという理解でよいか。

事務局) 人件費を人事院勧告に基づいて引き上げている。電気料についても増額。修繕費についても新規に措置しているところが主な要因。

委員) 人件費が上がっていくが、委託料の部分もほとんど人件費にかかわる部分。それがこの水準で大丈夫なのか。

事務局) 全体の事業費の中で効率的に見直すなど、指定管理者と相談しながら安定的な運営ができるように考えていきたい。

委員) どういうふうに改善できるかは県と相談しながらやっていくということか。

事務局) 委託料の部分は見積りを取りながら積み上げており、人件費の高騰分も反映されていると認識。解説員の減分について、音声ガイドを併用する形で補いながら、1名減としている。

委員) 外国人の方の人数は把握しているか。

事務局) 日本人か外国人なのか、見た目では判断するのは困難であり、把握はしていない。

委員) 310円が適正な価格か。安いのではないかと考えている。柔軟な価格帯ということも考えていただけるとよい。

事務局) 入館料については、無料で始め、有料化して入館者数が減った経緯がある。御意見として承る。

委員) 以前は指定管理者が集客も全部やるようなイメージだったが、今は県が指定管理者と協力しながらやっていくというイメージでよろしいか。

事務局) 県の施設であり、県が周辺施設やDMOなど横のつながりを強化する仕組みをとっていくことが入館者を増やしていくために重要と認識。みんな一体となって周遊促進などをやっていきたい。

昨年度、国の補助金を使って来訪者調査を行った。

(3) その他

委員) 岩手大学の平泉文化遺産センターのサテライト機能というのは、具体的にはどのようなことをやっているのか。

事務局) 平泉に関する共同研究、協議の場所として、この建物ができる前から使っているもの。

委員) よい活動。ほかの大学や研究機関から、共同研究を進め、学生がかかわるなど、よい展開ができるとよい。

事務局) まだまだ可能性はあるのだと思う。まず運営を安定させつつ、センターの活用、周知、いままでとは違うところへの周知も考えていきたい。

7 閉会

【事務局】

平原委員長様、議長をお努めいただき、大変ありがとうございました。

本日委員の皆様から頂戴しました御意見を踏まえ、募集要項について取りまとめ、修正等がある場合は、委員長にお諮りし、その取扱いを決定することとしたいと考えておりますので、御了解をいただきたいと存じます。

次回の選定委員会は9月に指定管理者候補団体の審査を予定しておりますので、よろしく申し上げます。